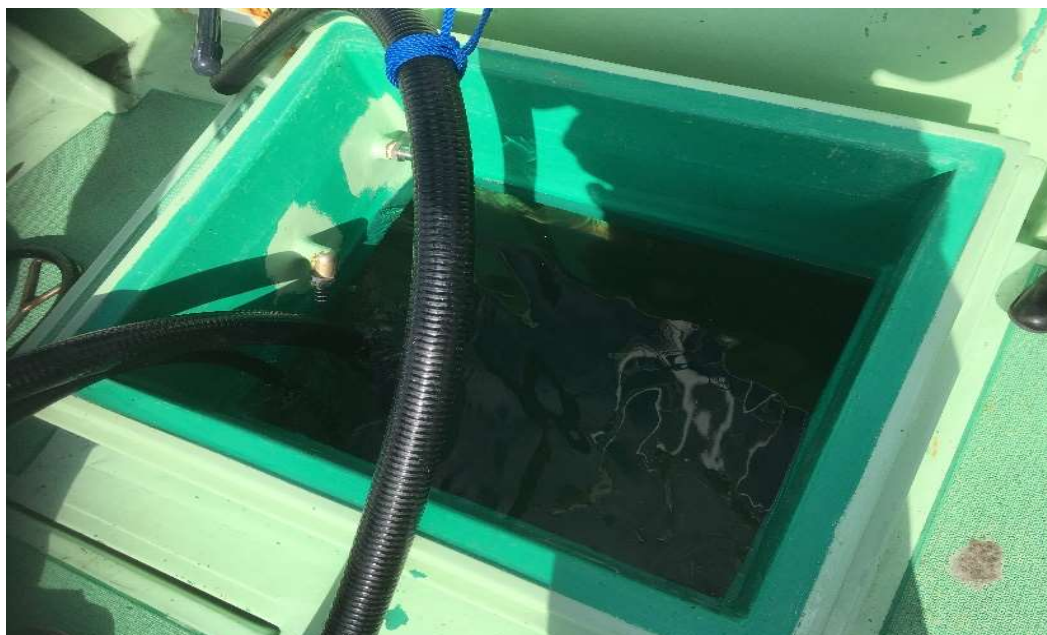


⑤第八新漁丸（しんりょうまる） 新垣哲二組合員（糸満漁協）

- ・船底キングストンから魚層へ海水を引き、ダンベル方式で主機関、補機への海水循環を行い軽石を除去しているとのこと。（魚層に差し込んでいるホースの吸い込み口で軽石を除去。）
- ・水氷や冷凍機を使用しない一本釣漁船がなしえる軽石除去方法とのこと。
- ・船底キングストンに軽石がつまった場合は、一度エンジンを止めると、その反動で軽石が吐き出されるとのこと。
- ・現在、ダンベル方式を用いて2航海操業を行っているが問題ないとのこと。
- ・軽石の影響が劣化しているのか分からないが、インペラの破損状況が気にかかるとのこと。

⑤第八新漁丸（新垣組合員）







↑魚層の海水をホースで吸い込み、海水を循環させる。吸い込み口で軽石を除去



↑主機関、補機へのホース



↑インペラの破損